外国語学習・教育における
レアリアの具体的教育内容に関する研究

堤　正典／西野　清治

2014年度にはロシア語の初修レベルでのレアリアの学習内容について検討を続けた。特に、学習語彙との関係に注意を払うべきであることが分かった。

また、2014年7月13日に、神奈川大学国際交流事業として、ロシアからも研究者を招き、国内の研究者の参加も得て「シンポジウム・ユーラシアを研究する『言語教育におけるレアリア〜ロシア語と日本語』」を開催した。言語教育におけるレアリアについての諸相について報告・討論があったが、特にこのシンポジウムによって、日ロ両言語で、一方で基本的な語彙が用いられる表現が他方ではより高いレベルで学習する語彙によってのみ表わされていることが多々あり、このような言い回しや発想の違いはレアリアの知識が関わることに改めて注目させられた。

2015年度も初修レベルの語彙についてレアリア学習の面から検討を続けた。学習語彙においては。ロシア文化に特有なものや、日本人学習者にわかりにくいものなどの語はそれなりの説明を付け加えなければならない。説明を加えなければならないのは、それなりの負担ではあるが、そのような語を適切に含めることはロシア語に慣れさせるのに必要であることが認識された。

なお、堤はかつての共同研究者である非常勤講師の小林潔氏と共同で、スペイン・グラナダで開催された国際ロシア語・ロシア文学教師連盟大会（四年に一度開催）で「ロシア語を学習していない学生に対するロシア文化教育」をテーマに報告を行い、ロシア連邦の国立ブリヤート大学の創立20周年記念論文集には「ロシア事情講義の様々な教授形態」について投稿した。これらの研究は、外国語学習におけるレアリア知識というよりも、ロシア文化を直接教育する際のことを取り上げたわけだが、学習者に異文化について教育することでは共通する。この成果は別の角度から本研究と関わるものである。

成果一覧（論文・口頭発表等）

「外国語教育とレアリア」堤正典『ロシア語学と言語教育Ⅴ』（堤正典編、神奈川大学言語研究センター）pp.5-10, 2015.

≪Преподавание русской культуры японским студентам, не изучающим русский язык≫（ロシア語を学習していない日本人学生に対するロシア文化の教育）、小林潔・堤正典 //*Русский язык и литература в пространстве мировой культуры*: *Материалы XIII Конгресса МАПРЯЛ*（Вербицкая Л. А., Рогова К.А. Попова Т.И. 編 СПб. : МАПРЯЛ）10th vol.,pp.483-487, 2015.

≪Роль различных методических форм в курсе ≪Страноведение России≫(из опыта одного японского университета)≫(「ロシア事情」講義における種々の教授形態の役割）堤正典・小林潔 //*ЕВРАЗИЙСКАЯ ПАРАДИГМА РОССИИ: ЦЕННОСТИ, ИДЕИ, ПРАКТИКА*（Удан-Улэ: Издательство БГУ）pp.96-98, 2016.